

T: はい、じゃあ、お久しぶりです
L: お久しぶりです
T: えー一年間、毎年一年に一回お会いしてるんですが(はい)、5年目ですね
L: あ、もうそんなに
T: ええ、最終回なんです、<笑>
L: そうなんですか
T: はい、良かったですか？
L: あー
T: いや、はい<笑>、どうでしょう、まず、この一年間、どんな様子だったか、ちょっと、お聞きする辺りから
L: そうですねー、やっぱり、東北の、大震災があって(はい)、自分の無力さって言うんですかね(あー)、を、思い知った一年、まあ、始まりがそうでした(んー)、そこから何ができるのかなーって思ったんですけど(うん)、あまり<笑>(笑)、思い浮かばずに(うん)、来てましたね、あとは、そうですね、就活とか(はい)、ばんばってたんですけど
T: うん、じゃあ、最初にその3月11日、どこで何をしてたんですか？
L: あー、自分軽音部に(はい)、所属しているんですけども(はい)、そのバンド練習が、学校の方であつたので(うん)、まー練習をして、みんなと、雑談をしていたら(うんうん)、すごく揺れ始めたので(うんうん)、おー、で、みんな避難して(うん)、で、そのあと、まあ、家が心配になったので(うんうん)、すぐ帰りまして(うん)、まあ家族全員無事だったんですけども(うん)、一日ほど停電に(うん)、家がなつたので(はい)、その、電気のありがたみっていうか(笑)、知りましたね
T: んー、え、身近なところで何か被害とか無かったですか？
L: えーと、そうですね、{県名1}はそんなに、なんか、瓦が落ちて(うん)、人にあたって死、亡くなったのは(うん)聞いたんですけども、身近には…
T: 家で何か落ちて壊れたとかも一切…
L: あー、なかったですね
T: んー、じゃあもうあくまで、えー、遠いところっていうか、まあ東北の地震みたいな受け止め方
L: そう、なりますねー
T: んー、ただ電車が一部(あー)、どうですか、止まったりとか
L: やっぱり、その、会社の説明会でしたりとか(はい)、あの、都内でやるので、その電車が止まることによって(うん)、延期になったり(うん)、中止になったりしていたので(うん)、そこは、困りましたね(んー)、あと、余震があつて(うんうん)、電車に乗っていたんですけど(うん)、まあ一時間ぐらい(あ、はい)、その電車の中で、止まっちゃって(ふーん)、過ごしていたの、ぐらいですかね、やっぱり
T: 大学は授業とは、平常通り
L: あー、春休みだったので(はい)、もう
T: あの、四月の授業の、に、あの、予定通り始まったんですか？
L: いや、あの、二週間遅れて(んー)、始まったんですけども(うん)、でも、シラバス授業がなくなっただけで
T: 何授業？
L: シラバス授業って言う、あの、事前にどの授業を取るか(はい)、を、その45分間先生が説明するっていう

T: あー、それがシラバス授業、お試していうか、授業の説明
L: そうですね
T: それがなくなった
L: それがなくなったぐらいですかね(はい)、はい
T: ふーん、で、さっき自分の無力さって言う風になんか**たんですけど(はい)、地震があった後なんか、考え方とか変わったんですか？
L: そうですね、やっぱり、その、自分は停電が一日だけだったんですけども(うん)、その、停電とか、水道、ガスが止まったり(うん)、あと、自分の家がなくなったりした人も(うん)、あとまあ、家族も亡くなった人もいっぱいいるんですけども(うん)、やっぱりその人達のために何かできないかなって、思ってた、あーでも、最初だけですなそう思ってたの、何かとんどん実感が、なんていうんですか、薄れていくっていうか(うん)、今はその思いはどこにみたいな(<笑>)、のがありますけれども(うん)、やっぱり、その、人の役に立ちたいなーって(んー)、思い…
T: 何か、やりました？
L: あー、あの、二日ほど、がれきの撤去を
T: あ、行ったんですか？
L: はい
T: え、ど、どんな感じで、どん、その行ってから、帰るまでどんな状況だったのか、ちょっと説明してもらってもいいですか？
L: あー、あの、夏休みに行ったので(はい)、もう、結構なんて言うんすかね、周りが野原みたい、野原って言うか、何も無い…
T: どこに、まず、どういう、プログラムで行ったんですか？
L: あーはい、あの、先輩と、なんていうんですかね、瓦礫の、ボランティアをしよう、みたいなのが、あの、福島の方に
T: どっかが募集してるプログラム？
L: そうですね、なんか先輩が(あ、はい)、やろうぜ(はい)って言ってきたので(はい)、あ、やりたいみたいなの
T: で、福島のどこですか？
L: えーと、その原爆[原発]があった、30キロ圏外です
T: あ、原爆じゃなくて発電所の、<笑>
L: あそうですね
T: 原爆だったらちょっと大変だよな<笑>
L: はい、その…
T: 淵、周辺くらい？
L: 周辺ぐらいですね(んー)、あまり
T: 人が行きたがらないところ
L: そうですね、被害が(んー)、すごかったの
T: はい、そしてまず何もなくて
L: はい、でも、あの、コンクリートとか、埋めてある、埋めてあるって言うか、埋められているので(はい)、それを掘って、持っていくって言う
T: 結構肉体労働

L: そうですね(ふーん), もうその二日間ずっと筋肉痛で
T: あ, ふーん, どうでした, それをやってる時の状況とか
L: あー, なんて言うんですかね, そこで初めて, 人の役に立ったのかなっていうのを感じましたね, やっ
ぱり, なん, なんだろう, あんまりでも人助けしてるか**かった
T: ん?
L: あんまり人助けしてるって感じではなかったですね
T: ふん
L: なんか, ひたすらやってたので
T: あー
L: でもその中でも現地の人が(うん), あの, お味噌汁でしたりとか(うんうん), をくれたので(んー), す
ごく人の温かみを, 知りました
T: えっと, そういう時はどういうところに泊まったり
L: あー, あの, ホテル
T: あ, ホテルが(はい)あつ, ホテル…
L: その(はい)自衛隊の, ホテルって言うか, なんて言うんですかね, なんか, 家? <笑>,
T: 自衛隊の家?
L: 自衛隊のほうで作った(はい), なんて言うんですかね, その, ひなん, 避難所みたいな
T: あ, 仮設の…
L: そうですね, でも, ほとんどホテルみたいな
T: あ, そうなんですか
L: ベッドが二つあって
T: はー, でも臨時に作った建物?
L: そうですね
T: はー
L: すごく作りが良くて(はい, はい), 無料で泊まれるんだなー, みたいな
T: ふーん, 往復の費用は自分ですか?
L: あーそうですね(ふーん), 自分持ちですね
T: うーん, はい, あと食費とかも
L: あ, 食費はあちらのほうで(へー), 出してくれたんで(うん), 助かりました
T: はい, でも夏の暑いときで
L: そうですねー(んー), でも東北なんで, {県名1}ほどは<笑>, 暑くなかったので(うんうん), ちょっ
とは, まあ, 暑かったですけど,
T: あの一, なんていうかな, なに, その, お味噌汁の差し入れがすごく嬉しかったって話をしましたけ
ど(はい), えーそういうところに行って, そのボランティアとしてこうやったっていう充実感ってどうい
うところで感じられるんですか?
L: 充実感(うん), あーあの, あとから(うん), その, 写真を送っていただいて(はい), で, そこに, あの,
家が建てられ始めているのを(あー), 見て, あー(はい), 自分頑張ったんだなーと思いましたね
T: それって, すごい手間ですよ? ボランティアしてくれた人みんなに写真を送る
L: あーそうですねー, あの(うん), 自衛隊のほうか
T: あ, 自衛隊が(あ, はい), そういうボランティアの, お世話とかも(そうですね), してくれる, ふーん

L: そういう担当の人がいるらしくて(はいはい), 送ってくれたんですけどね

T: ふーん, それを送ってこなかったらなんか

L: えー, なんだろう(うん), いや, でも自己満になってたのかなー,

T: え, それがなかったらってこと?

L: そうですね

T: 自己満足で終わった?ん?

L: 多分(うーん), まあ, なんだろう, ちょっと

T: うん, ボランティアがいないと, ボランティアがこうちょこちょこ行くよりも, もう行政の寄付とか募って, 行政とかが大きな機械とかを使ってやっちゃった方が速いんじゃないかと思うんですが(そうなん...), そう, どう思いますか?

L: 自分もそう思う...

T: あ, そうなんですか<笑>, じゃ...

L: だから自己満になっちゃうのではないかなと

T: あー, じゃあボランティアっていらませんか?

L: どうなんでしょうね<笑>, でも, まあ, 国も借金をしているわけですから(はい), そこまでお金が回ら, 回るのかわからないんですけども(んー), やっぱりその無償でやってくれる(うん), っていうのはおつきいんじゃないかね

T: うん, やっぱり(はい), うん, あと自衛隊がなんか色々写真を送ったりとかやってくれたみたいなんです, 自衛隊って元々あの一, 日本の軍隊(はい), ですよ, あの一, 比較的反感を持つ人が多いんですけど, [L]さんはどう思いますか?

L: えー, やっぱり, 国を守るっていう意味では(うん), やっぱり必要だと私は思っているんですけども(うんうん), その北朝鮮でしたりとか(はい), まあ核を保有しているっていう噂が, あるので(はい), それを, 国から守るのが自衛隊だと(うん), 思っているんで, 自分はどちらかと言えば, 賛成(うん), の方ですね

T: ただ自衛隊の目立つ活動というと大抵その, 地震とかの災害(<笑>), かと思いますが(あー), それは違う, 税金の無駄使いじゃない, 違うんじゃないっていう声も聞くんですけど, どうでしょう

L: 確かに(<笑>), いやでも, いやその通りです

T: ええ<笑>, そうですか?

L: えー, でも税金の無駄使いだとは私は思わないですね

T: はい, ど, そ, どうして?

L: えー, やっぱり, その, ただ, せ, 戦争っていうか, そういう, 国を守るだけでつっ立てるよりも, そういう人達を助けに行った方が, やっぱり, 税金の無駄遣いではないと思いますね

T: うん, あの一, [L]さんも, あの一, [L]さんも, 自衛隊に, 誘われたら入りますか?

L: あー, 入らないです<笑>

T: どうしてですか?

L: えーと, んー, どうしてか, やっぱりー, なんだろ, 肉体的な自信がないので(はい), 自分は(はい<笑>)行かないです<笑>

T: わかりました, はい, もう 1 つ, 今年大きな出来事, 就活っておっしゃいましたけど(はい), どん, どんな活動をしてらしたんですか?

L: えーと, 会社説明会から(はい), まあ面接(はい), なども, あとそういう, 就活用のセミナー(はい),

とかもあったので、そういう、活動していました

T: んー、で、いまどんな状況ですか？

L: えっとー、あの、内定は頂いているのですけれども

T: あ、おめでとうございます

L: あ、ありがとうございます、ち、ちょっとまだ納得の、行くところではないので(はい)、未だに就活をしているところですね

T: んー、え、だい、希望はどういうところだったんですか？

L: えっとー、やっぱり外資系、企業が希望だったんですけども(んー)、まあ自分の英語力が、低いので<笑>、そういうあの、英語をこようご[公用語]にしないところ(んー)、のあと、なんて言うんですか、輸入会社とか(はい)、を今受けてますね

T: ふーん、じゃあもうしばらく

L: そうですね、まあ3月までには(うん)、答えを出さなきゃいけないので

T: はい。ただその今その内定を頂いているのは3月まで、あの、大丈夫なんですか？最終決定

L: そうですね(んー)、あの、企画会社なので(はい)、4月からが本番っていう所なので(はい)、はい、23日まで、待ってくれるそうなので(あー)、その**

T: はい、じゃあそれまで、っていうかどっかで(そうですね)、決まるかどうかって

L: 決まれば(はい)、わかんないんですけど

T: んー、あの一、[L]さんにとって仕事をするってどういう意味があるんですか？

L: いやー、やっぱり人生経験になるのかなーって

T: 人生経験？

L: はい

T: はい、それはもうちょっと説明していただけますか？

L: あの一、お金よりも(はい)、やっぱり自分が成長できる、という場だと私は思っているので(はい)、まあ、安くても、自分の成長になるものだと思えば、それに行ってみたいですね

T: んー、えー、それって、一生成長し続けたいっていう…

L: あー、あの、自分最終的には、あの、ブラジルのほうに、帰る予定なので(はい)、こちらで成長して、力をつけてから行こうかなと

T: ふーん、何年ぐらい？

L: そうですねー、3年

T: あ、3年ぐらいでもうブラジルに帰ろうかなと

L: そうですね(うん)、あっちのほうが、経済成長的にも(んー)今いいので(うん)、はい

T: あの一、さっきの話に戻るんですけど、地震のあと、たくさんのブラジルの人が(はい)、国に帰られましたね、その時点では、帰国の話は家族からはでなかったですか？

L: あー、やっぱり、母親のほうが(はい)、心配だということで(はい)、帰りたいとは言っていたんですけども(はい)、あの一、私と、妹の方で、こっちで大学をしたいという(ふふ)、はい、願望を、があったので(うん)、必死に説得をして(うん)、やっぱりこっちに残りました

T: ふーん、あの一、向こうじゃなくて日本の大学、日本で大学教育を終えたいという、その、希望の理由はなん

L: やっぱりもう、4年生になるので、自分ももう(そうですね<笑>)、まあ、とりあえず終わらせたいなと(はい)、思っていて、あと、自分のポルトガル語の能力も、そこまで今は高くないと思っているので、

自分で、あっちの大学はきついかたと

T: んー、妹さんも、同じような理由で

L: あー妹は、どうなんですかね(うん)、やっぱり、どちらかというとその友達と離れたくない(ふんふんふん)、といった理由ですかね

T: でもたくさんの、友達とかも帰った人は結構いますか？

L: えっと、自分の友だちはみんな残りましたね(あ、そうなんですか)、その、こちらのネスポである、日本語を教えていたんですけども(はい)、その生徒たちが帰ったのは、まあ(ほー)、結構いました

T: その帰るのと帰らないのと判断とか、決心の境目ってどういう違いなんですか？

L: やっぱり、安全か安全じゃないか

T: 安全、安全というのは？

L: その、自分の考えでは(はい)、ブラジルに住んでいても、日本に住んでいても、何かしらのリスクがあるので、はい、別に日本に住んでいても、安全だと私は思いますね

T: あ、えー、今言っているのは、帰った人は、どう* *ということですか？

L: あー、帰った人はやっぱり、危険だと思ったんじゃないですか、日本が

T: ど、どういう意味で

L: 地震とか(はい)、あとあの、原発の(はい)、その、なんですかね、あれ、セシウムじゃねーや、その原発の被害って言うか(はい)、があ、安全ではないと(はい)、思って、あとやっぱり、その家族のほうで、ブラジルにいる家族が、心配してくれているので

T: あーもう、もともと家族が別れていたような人たち(はい)ってということですね

L: そこに、それで何かがあったら、心配してくれるだろうから、やっぱり、そういう心配をなくすために帰ったんだと(んー、はい)、思います

T: で、今安全って言う時、ブラジルに行っても日本に行ってもリスクがあるって言う、その安全って色々な種類があるっていう風に[L]さん考えるんですか？

L: はい

T: その安全について、[L]さんの考える安全について少し説明してもらってもいいですか？

L: えーと(はい)、やっぱり日本は、その犯罪でしたりとか(はい)、は、あんまり多くないので、少ないので(はい)、やっぱりそういう、なんて言うんですかね、犯罪面の安全では、安全だと思うんですけれども、やっぱりそういう自然災害(はい)、津波であったり、あとはまあ火山の噴火でしたりとか(うん)、地震でしらりとか、の面では、どちらかと言うと危険(うん)、だと、私は思いますね

T: うん

L: あれ質問なんでしたっけ？<笑>

T: うん、安全、だから今安全に色々な安全があるって言った(はい)、その自然災害と、はん、あの、犯罪っていうあんざい、安全

L: はい

T: 他には、**ありますか？

L: 他

T: だいたいそれぐらい？

L: そうですね、大きい(うん)ところでしたら

T: で、人が、そこに住むかどうかっていう、一番大きな判断基準は安全だっという風に思いますか？

L: そうですねー、どちらかに選択があるとしたら(んー)、やっぱり私は安全面を(んー)、まあ、結局ど

ちらもリスクはあると思うんですけど(うん), どちらの方が安全かで決めますね

T: うん, ただそう思うと, 例えば紛争地域なんかには(はい), ボランティアで出かけていったりとか, 医師が必要だからって, でて, 出かけていく人たちっていうのは, なんのためにそんなとこ行くんでしょうか, 安全じゃないですよ

L: はい, やっぱり, なんだろ, やっぱり人の助けになりたいからですかねー(んー), まあ, そういう, 自分の命よりも, やっぱり他人を助けたいっていう気持ちからじゃないですかね

T: うん, で, 地震があったとき, [L]さんの家はどう, どういう風にするとか決めてありますか? 例えば, みんな違うところで地震にあったら, どこでどう会うとか, 連絡先…

L: あー, 地震がある前は(はい), 特に何も話しあっていなかったんですけど(うんうん), 地震があつてからは, まあ一回, 家に帰ってくるっていうのと, あと家がもしなくなっていたら(<笑>), やっぱり, 近くの小学校が, あるんですけども(はい), そちらに, そちらの校庭に, 来れるようでしたら, っていう, あとは, 留守番電話に電話を入れて, ちゃんと自分がぶちだ, 無事だっていう, のを入れておくっていうのが

T: んー, ただ今回あの一, 地震のあの日って, 電話がほんとにつながらなく, メールも届かないってそういう状況だったんですけど(あー), そういうのは想定さ, してますか?

L: してないですね

T: <笑>

L: そっかー, あーちょっともう一回話しあってみます<笑>

T: あーいやいやいや<笑>, あとふえ, あの, フェイスブックとか SNS とかそういうのはやってますか?

L: はい

T: あの一, そういうものでこう, お互い情報共有するとか, そんな検討はしなかったですか?

L: あー, 自分と妹しかやっていないので(はい), そういう SNS は(はい), なので, どうなんですかね(んー), 家族は, 厳しいかな

T: かもしれない, やっぱり世代差があるという

L: そうですねー(んー), やっぱり両親はパソコンしか使えないので

T: うん, パソコンでもでも, できますよね

L: でも家が(あー)崩れたら

T: はいはい, はい

L: 自分たちはフェイスブックはスマホとかで(はい), できるのでまあ(はい), 大丈夫かなと思うんですけど

T: えー, フェイスブックでっていうのは, あの, 実名でやらなきゃいけない規則になってますよね?

L: はい

T: で, それが, やっぱり他の匿名のよりもかえって危ないんじゃないかって意見があるんですけど[L]さんはどう思います?

L: そうですねー

T: 個人情報がたくさん流出する危険があるんじゃないかと

L: んー, んー, そこまで危険性を感じたことは, 特にないんで(んー), んーどうなんですかねー, でもやっぱり, その実名でやることによって, その, 色んな人と再び連絡が取れる(んー), のはすごい, なんて言うん, んーいいことだと私は思って…

T: でも実名じゃなくても、別にあのハンドルネームでも常にその人って分かれば、ずっと連絡は、ネット上では連絡は取れますよね？

L: あー、はい(<笑>)、その名前で検索できるじゃないですか(あー)、やっぱり

T: 知ってる人を

L: そうですね、そこで自分の従兄でしたりとか(あーあー)、全然連絡なかったん、取れなかったんですけど(うんうん)、その、調べることによって、えーでもどうなんだろう、<笑>、でもそこまで危険性を私は感じないですね

T: んー、危険って言うのは意外と見えないんじゃないですか？

L: そうですね(<笑>)、いつ悪用されるかわからないですから

T: はい、はい、じゃあ一つだけロールプレイなんですけれども(はい)、えーと、これちょっと、この、この設定で、会社の上司に京都に行くと言ったらと書いてあるんですが、えーと、大学の先生(はい)、大学の先生、指導教授に京都に行くと言ったら、その先生が両親の家に泊まって欲しいって言って、だけど断ってねっていう(あー)、それで良いですか？大丈夫？

L: はい<笑>

T: はい、先生、先生は京都出身っていうことにちょっとさせてもらいますね

L: はい

T: で、私は今日ちょっとあの、指導教授、先生です

L: はい

T: はい、先生ちょっと怖いから丁寧に話しをしてください

L: いええ、はい

T: はい、あ、え、[L]くん京都行くんだって？

L: はい

T: んー、私京都出身だから、私の両親のうちに是非泊まって欲しいの、もう絶対[L]くん気にいると思う

L: あーそう、そうなんですか

T: はい

L: えーと、やっぱり私はあの、京都に、観光に行くので(はい)、色んなところ周りたいたいですよ

T: ええ、ええ、ええ、だからう、あの、うちの実家に泊まって、そこからどこでも自由に行ってもらって大丈夫ですよ

L: やっぱりその、京都っていったら旅館じゃないですか

T: え、でもうちも古いあの、民家みたいな、旅館みたいな家で中々風情があっていいですよー、気使わないで

L: あー、はい<笑>(<笑>)、いや、あの、でも、やっぱり御迷惑になるかと思うので

T: あーいやいや若い人来るの大好きだから

L: そうですか

T: はい

L: えー、うーん

T: いや、なんか、嫌なの？

L: いや特に嫌ではないです

T: はい、じゃあ、泊まるって連絡しといても大丈夫？

L: あー、<笑>(＜笑＞)、どうしよ、あの一、私傷心旅行に行くので、1人になりたいので
T: あ、そうだったんだ
L: はい、す、すみません、<笑>
T: わかったわかった、はい、じゃあそういう風に伝えときます
L: あー、宜しくお願いします
T: はい<笑>、はい、え、で、じゃあ、ちょっと場面を変えて、友達なんですけど、[L]くん今先生となん
の話してたの？
L: え、えっと、京都旅行に
T: うんうん、今度行くよね
L: 行くんだけど(うんうん)、その先生の方が(うん)、両親の家に泊まってくれっと、言ってきたんだ
T: え、そうなの？
L: はい
T: で、泊まることにしたの？
L: いや断った
T: どうやって断ったの？
L: え、傷心旅行だから1人でいさせてくれって
T: あ、そっか、お前失恋したんだ
L: そうです
T: <笑>、わかったわかった、ふーん、そうだったんだ、まあじゃあ京都楽しんできてね
L: はい、ありがとう
T: はい、ということで、えーまあ、ここまでにしときましょう(はい)、ありがとうございました、はい
L: ありがとうございました